

超こだわり派に 応える建築士と工務店

家を設計する人も家を建築する人も、家を建てる人も「家」に対する思いはそれぞれ異なるものの、「家づくり」に対する思いが共通した人に合うと感動するものである。感動するだけでなく、その人(家族)の行き方、暮らし方まで決定つけてしまうことになる。

資源＝環境資源とも言わ

いる。簡便な建売住宅や工業化住宅を選択しがちな最近、山下さんはちがっていた。

「家は買うものではなく、自ら建てること」を信条とする。しかも「建てるわが家」を「どのようにして創るのがベストなのか」「住んだ後も長い間、美しさを失わず、健康と心を育む住環境をどうしたらつくれるのか」を求め続けたのだった。

住まいづくりに関する多くの本も読みあさり、モデルハウスも見学、多くの工務店やビルダー、ハウスメーカーにも対面し相談、アドバイスも受けた。いずれも山下さんの全身を動かす程の決定はなく、疑問と不快が残っていた。昨年の8月「木の家に住むことを勉強する本」に載っていた「千葉の山を愛する家造りネット」欄にある「さんむフォレスト・建築応援団」(㈱稗田総合建築設計事務所)に目が止まり電話したことから全身が動き出したという。山下さんの住宅観には、国

(3面へつづく)

山武杉の伐採から 家づくりまで建主が主役



(2面からつづく)

籍のない家づくりではなく、「伝統工法の木造で環境共生であり、現代的和風であり、地産地消」が込められていたのだっ

た。地元にある「山武杉」を採用し、山武の自然と共生する住まいづくりをする設計事務所が身近か

にすること知り興奮した山下さん。早速、(㈱稗田

総合建築設計事務所(稗田忠弘社長)に会ってからはトントン拍子。新月の木国際協会の増田正雄理事長に会い、同協会に加入。「さんむフォレスト仕様」で建築できる施工会社(製材業も兼ねている)として山武市の石井工業(株)(石井 充社長)を決定。12月25・26日の新月に山武杉50本を伐採、葉枯らしして6月には着工の予定だという。



写真上・右から山下さん家族、子供の後は稗田氏、その左が石井氏、増田氏、手前が新月の理事である桜井氏